



2022年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月27日

上場会社名 カナレ電気
 コード番号 5819 URL <https://www.canare.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 中島 正敬
 (氏名) 祖父江 秀行
 TEL 0561-75-3001

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	2,707	13.4	245	18.6	261	20.3	168	17.3
2021年12月期第1四半期	2,388	13.3	206	35.8	217	33.5	143	39.7

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 402百万円 (19.2%) 2021年12月期第1四半期 337百万円 (386.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	25.01	
2021年12月期第1四半期	21.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	16,771	15,004	89.5	2,223.09
2021年12月期	16,273	14,716	90.4	2,180.38

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 15,004百万円 2021年12月期 14,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		13.00		17.00	30.00
2022年12月期					
2022年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,079	6.7	247	43.2	246	47.5	157	50.0	23.26
通期	10,225	1.9	564	44.2	562	47.5	371	45.6	54.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	7,028,060 株	2021年12月期	7,028,060 株
期末自己株式数	2022年12月期1Q	278,514 株	2021年12月期	278,514 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	6,749,546 株	2021年12月期1Q	6,749,546 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社グループで現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際はさまざまな要因の変化から、実際とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9
海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの影響が継続しており、一部ではウィズコロナの施策の下経済活動が回復する動きもあるものの、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の新たな変異株による感染者増加もあり、先行きが見通せない状況となっております。またロシア・ウクライナ情勢によって原油高や物価高が進み、ますます不安定な経済状況となっております。

こうしたなか、当社グループは、光製品や電子機器の新製品普及活動、AVコンソール製品などの販促活動を積極的に行うとともに、ITネットワーク関連製品など新規製品の開発活動に取り組んでまいりました。国内では新型コロナウイルス感染症やロシア・ウクライナ情勢の影響を受け、前期から続いている原油・原材料の高騰が一層進み不安定な経済状況下、予定されておりました地方放送局新社屋への納入が進むなど増収となりました。海外では、中国で減収となったものの米国・韓国の業績が好転して海外での売上は増収となりました。

その結果、連結売上高は2,707百万円（前年同期比13.4%増）となり、利益面でも増収に伴い営業利益245百万円（前年同期比18.6%増）、経常利益261百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益168百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

主なセグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

日本市場は、放送市場では物件規模の小型化が顕著となるなか、地方放送局の新社屋建設、番組制作関連の設備更新向け納入が継続しており、電設市場でも予定された物件への納入が堅調で、売上高は1,650百万円（前年同期比11.1%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い184百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

(米国)

米国市場は、継続して新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、放送市場において番組制作の4K放送化更新需要増加に伴い現地ディーラ向け納入が堅調で、売上高は290百万円（前年同期比46.9%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い27百万円（前年同期比245.1%増）となりました。

(韓国)

韓国市場は、経済低迷に加え新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、放送市場の4K放送化更新物件が遅延しておりますものの、電設市場向けの納入が堅調で、売上高は225百万円（前年同期比22.1%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い17百万円（前年同期比391.5%増）となりました。

(中国)

中国市場は、北京冬季オリンピック関連物件や、放送市場における4K放送化需要向け納入があったものの、新型コロナウイルス感染症の感染者増や景気減速の影響を受け、売上高は211百万円（前年同期比34.5%減）となりました。セグメント利益も減収に伴い15百万円（前年同期比75.9%減）となりました。

(シンガポール)

東南アジア市場は、継続して新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、遅延していた物件の再開によるシステムインテグレータやディーラ向け納入が堅調で、売上高は95百万円（前年同期比41.7%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い12百万円（前年同期比201.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態につきましては、売上増に伴う売掛債権の増加や子会社新工場建設などに伴う固定資産増加によって、資産合計は前連結会計年度末に比して498百万円増の16,771百万円となりました。負債合計につきましては、仕入増に伴う買掛金の増加や海外子会社のリース負債増加によって、前連結会計年度に比して209百万円増の1,766百万円となりました。純資産合計につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の増加により、288百万円増の15,004百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月27日の「2021年12月期決算短信」で公表いたしました第2四半期（累計）と通期の業績予想に比して当第1四半期連結会計期間の業績が前倒し傾向となっておりますが、足元の厳しい経済状況や今後の費用発生予定を考慮し、当初の業績予想のまま据え置くこととします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,782,346	9,631,370
受取手形及び売掛金	1,110,184	1,425,639
商品及び製品	2,034,263	2,200,887
仕掛品	313,399	217,625
原材料及び貯蔵品	248,094	206,590
その他	387,766	278,265
貸倒引当金	△8,532	△9,893
流動資産合計	13,867,522	13,950,484
固定資産		
有形固定資産		
土地	781,118	784,842
その他	2,994,899	3,385,990
減価償却累計額	△2,396,177	△2,411,862
有形固定資産合計	1,379,840	1,758,969
無形固定資産		
投資その他の資産	17,902	16,559
その他	1,024,858	1,062,148
貸倒引当金	△17,112	△17,112
投資その他の資産合計	1,007,745	1,045,035
固定資産合計	2,405,488	2,820,565
資産合計	16,273,011	16,771,049
負債の部		
流動負債		
買掛金	498,350	613,060
未払法人税等	154,920	115,067
賞与引当金	83,544	155,683
役員賞与引当金	12,150	6,035
その他	629,640	619,839
流動負債合計	1,378,606	1,509,687
固定負債		
製品保証引当金	13,457	13,442
役員退職慰労引当金	43,305	45,230
退職給付に係る負債	19,467	20,321
その他	101,572	177,594
固定負債合計	177,803	256,589
負債合計	1,556,409	1,766,277

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	12,632,377	12,686,453
自己株式	△335,601	△335,601
株主資本合計	14,519,529	14,573,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,014	55,840
繰延ヘッジ損益	—	△51
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	536,108	746,427
その他の包括利益累計額合計	197,071	431,166
純資産合計	14,716,601	15,004,771
負債純資産合計	16,273,011	16,771,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	2,388,460	2,707,556
売上原価	1,464,423	1,714,307
売上総利益	924,036	993,249
販売費及び一般管理費	717,356	748,147
営業利益	206,679	245,101
営業外収益		
受取利息	3,653	3,962
不動産賃貸料	826	1,256
投資事業組合運用益	—	2,418
為替差益	2,805	9,262
補助金収入	3,279	—
その他	1,868	2,417
営業外収益合計	12,433	19,318
営業外費用		
支払利息	265	723
不動産賃貸原価	587	941
投資事業組合運用損	357	—
固定資産除却損	—	35
その他	135	733
営業外費用合計	1,346	2,434
経常利益	217,766	261,985
税金等調整前四半期純利益	217,766	261,985
法人税、住民税及び事業税	86,343	109,641
法人税等調整額	△12,541	△16,474
法人税等合計	73,801	93,166
四半期純利益	143,964	168,818
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,964	168,818

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	143,964	168,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,058	23,826
繰延ヘッジ損益	△1,014	△51
為替換算調整勘定	147,984	210,318
その他の包括利益合計	194,028	234,094
四半期包括利益	337,992	402,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,992	402,912
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準等」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の損益に与える影響はありません。

また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	1,485,063	197,778	184,725	322,147	16,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	591,371	—	—	232,209	—
計	2,076,435	197,778	184,725	554,357	16,717
セグメント利益又は損失(△)	156,527	7,893	3,576	64,163	△1,336

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	67,443	2,273,875	114,584	2,388,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	823,581	—	823,581
計	67,443	3,097,457	114,584	3,212,041
セグメント利益又は損失(△)	4,207	235,032	3,406	238,438

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,032
「その他」の区分の利益	3,406
セグメント間取引消去	364
棚卸資産の調整額	△36,857
その他の調整額	4,733
四半期連結損益計算書の営業利益	206,679

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	1,650,184	290,510	225,509	211,081	54,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	536,555	—	—	178,229	—
計	2,186,739	290,510	225,509	389,311	54,008
セグメント利益又は損失(△)	184,339	27,238	17,580	15,467	11,383

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	95,596	2,526,890	180,666	2,707,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	714,784	—	714,784
計	95,596	3,241,675	180,666	3,422,341
セグメント利益又は損失(△)	12,697	268,706	16,287	284,993

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	268,706
「その他」の区分の利益	16,287
セグメント間取引消去	4,589
棚卸資産の調整額	△46,967
その他の調整額	2,486
四半期連結損益計算書の営業利益	245,101

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による売上高およびセグメント利益に与える影響はありません。

3. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	197,778	625,967	130,550	954,296
連結売上高(千円)	—	—	—	2,388,460
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.3	26.2	5.5	40.0

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	290,510	626,804	186,723	1,104,038
連結売上高(千円)	—	—	—	2,707,556
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.7	23.2	6.9	40.8

(注) 海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。